



宇都宮市立西原小学校 学校だより

# にしはら

第 6 号  
令和6年11月29日

西原小学校  
校長 金子 渉

学校 HP は  
こちら ⇒



少し前まで 20 度を超える日が続いていましたが、この所急激に朝晩の冷え込みが厳しくなりました。気が付けば、今年も残すところあとわずか…11月は学校行事や地域・PTAの行事が目白押しで怒涛の1か月でした。その中でも子どもたちは頑張る心・思いやる心を発揮して、明るく元気に過ごす姿が輝いていました。

## 地域と共に①: PTA文化祭お世話になりました♡♡♡



24日に行われた地域PTA文化祭ですが、今回は久しぶりに制限を解除しての開催となりました。

各家庭にご協力いただいた不要品のバザーやYCCによる缶バッチ作り、ステージでの一条中の演奏、OB・OGによる飲食ブースなどなど、多種多様な催しが行われ、大盛況でした。なかでも、餅つ

きは、子どもたちも挑戦することができて、良い経験となりました。また、収益金も想定を上回る **247,936円**となりました。

文化祭実行委員をはじめ、前日、前々日からご準備いただいた地域・保護者の皆様、ありがとうございました。



## 地域と共に②：西原ウォークラリーを開催♡♡♡

27日には、今年度リニューアルされた地域を学ぶ『西原ふるさとウォークラリー』が行われました。今回は、10か所のチェックポイントを制限時間内に回りながら指定された形で写真を撮ったり、5年生が作成した史跡に関するクイズに答えたりするロゲイニングの要素を取り入れまし



た。この日を迎えるまでに、班でゲームに取り組んだり、一緒にお弁当を食べたりしながら仲良くなり、6年生の班長を中心として、縦割り班で協力しながら事前に歩くコースの計画を立ててきました。

ラリー当日も、車の通行に気を付けながら下級生に声掛けする姿や、行き交う地域の方々に元気よく挨拶する姿が見られて、子どもたちの成長が感じられる1日となりました。

初めてだったけど、楽しかった。大けやきの根っこが大きかった。えんま様の顔が怖かった。(1年N・A)

汗かき阿弥陀や熱木不動尊を実際に見て、大きさや形など外に出ないとわからないことだらけで、楽しかったです。(2年Y・Y)

ウォークラリーをして宇都宮の歴史などがよくわかった。班のメンバーが、地域の人や先生に挨拶ができていて良かった。(6年Y・T)

貴重な仏像をお見せいただいた一向寺，報恩寺，光琳寺，熱木不動尊の皆様，各班の安全確保に早朝からご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

## 楽しかったね！6年修学旅行♡♡♡

18・19日の2日間、6年生は鎌倉・八景島方面に修学旅行に行きました。

1日目は鎌倉で班別自由行動、事前に班ごとに行きたい場所やお土産、食べたい物を調べて、行動しました。鎌倉を訪れたことがある児童はごくわずかで、目的地に辿り着けるか心配でした。しかし、班に1台渡されたスマホを活用し、Google Mapに道案内を任せて、効率よく回ることが



出来たようです。



2日目は宿泊した八景島シーパラダイスでの活動になります。朝一番で「ふれあいラグーン」でインコやペンギンとふれあい、イルカに直接さわるという貴重な経験を全員がさせてもらいました。その後は班別に島

内を散策し、水族館でイルカショーを見たり、ジェットコースターに乗ったりしました。海風が強かったですが、そんなことはお構いなしに楽しんだ1日でした。

竹寺では竹の間を通る風の音がすごく綺麗で、日本を感じることができました。時間に余裕をもって行動することができて良かった。(6年 N・Y)

報国寺では歴史上の人物の名前が出てきて、社会で学んだ歴史のことを思い出しながら見学できた。友達と協力して学習して、急な予定の変更も焦らずにできたと思う。(6年 K・A)

今回の修学旅行では、「誰かが困っていたら助ける」という、そういう当たり前のこともしっかりできていたと思います。(6年 A・H)

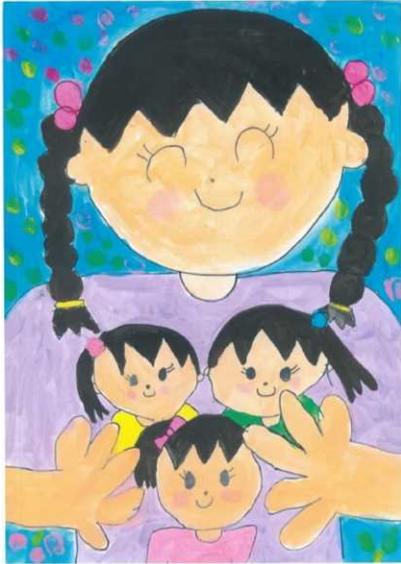
## 『第51回地域PTA文化祭』コンクール入賞作品のご紹介♡♡♡

文化祭のポスター・スローガンにたくさんの応募をいただきました。自分の作品がポスターになるのは児童にとっては滅多にない嬉しいことです。記念になりましたね。

<ポスターの部> 最優秀賞

2の2 福田彩陽さん

4の1 稲見椰々さん



優秀賞

4の1 伊藤音弥さん

3の1 平沢心乃さん



<スローガンの部>最優秀賞

『笑顔かがやけ!西原文化祭』

4の2 植田つかささん

優秀賞

6の2 山田のぞみさん

5の1 田中雅さん

## ～こころの教室・NSSR稼働中

全国的に不登校の児童生徒が増えています。不登校というと何となくマイナスのイメージを持ってしまいそうですが、一人一台端末が入った現在では、「学校に行かないで、将来の社会的自立をめざす」という選択肢も認められるようになって来ています。

本校でも「雑音で集中できない」、「気持ちが落ち着かない」などさまざまな理由を抱える児童が、自分のペースで取り組むことができる「こころの教室」を立ち上げ、2学期から正式に運用しています。

心が疲れてしまったとき、少し立ち止まって考えてみたいときなど、誰にでもそんなときは訪れます。児童一人一人の心に寄り添いながら「その子にとって」を一番に考えて、保護者の皆様と連携していきたいと考えています。ご家庭でそんな様子が見られたときは、「こころの教室があるから行ってごらん。」とそっと背中を押してくださるとうれしいです。よろしく申し上げます。